

向日が丘 授業研究通信

今年度、武富先生をお迎えしての1学期の研修は「学習評価」を中心に先生方の疑問の解消のきっかけになったのではないのでしょうか。

全校研（5月10日）

武富先生との初回の全校研は残念ながら、Zoomでの開催となりました。「問い」は子ども達自身のものになっているか？「資質・能力を問いで編み込む、絡め取るイメージが重要」、学びの「深まり」の鍵となるものは「見方・考え方」であるなど、私たちに多くの課題を分かりやすく投げかけてくださいました。



神戸親和女子大学 准教授
武富 博文 先生

武富先生と語る会（6月28日）

「語る会」では、授業者からの質問を中心に事前にみなさんから出してもらった「集中時間の差」のような日常的な疑問内容から「手立てや工夫」「三観点を意識した単元目標の立て方」そして「発達の異なる集団での目標と評価」についてまで多岐にわたる質問に対し、具体的なアドバイスをいただきました。そして、すべて動画でお答えいただいていますので、授業に困った時には、何度でも見ていただければと思います。



全校研（7月19日）

7月19日の全校研では先生方には、実践報告を事前視聴していただきました。各授業に対しての指導助言、ここでも具体的なアドバイスをいただきました。

感想の回収率はとても高く「自身の実践に活かせることは？」という質問にはほとんどの先生方にお答えをいただいていたと思います。一部をご紹介しますと

- ・「見方、考え方」というキーワード
- ・授業の評価について、もっと明確に考える
- ・どういう資質能力を育てたいかの問いが大事
- ・リアルに目的を明示することで主体性を育む
- ・人を受け入れる力、関わる力が社会貢献の土台
- ・教育課程を語る学校文化を目指したい
- ・学部間での情報交換は財産 などなど…



その他にも「2学期以降の実践に活かせる」との、心強い回答がたくさんありました。2学期の実践が楽しみです。

動画のご紹介 武富先生研究会



5月10日 全校研

「問い」や「見方・考え方」をどう考えるか等の課題にわかりやすく投げかけて、説明されています。



6月28日 語る会

先生たちからの様々な質問、疑問や授業作りへの悩みについて具体的にアドバイスを頂いています。授業作りにも必見です。



7月19日 全校研

各学部の授業に対して具体的なアドバイス、2学期以降に活かせるポイント等たくさん頂きました。授業作りへのヒントが盛りだくさんです。